

月刊 新翔タイムズ

第26号
新翔タイムズ 編集室
発行・熊野新聞社

今夏、キャリアアップを実施

2年生全員が夏季休暇中に体験

2年生全員が夏季休暇中に、地域の事業所など各方面の協力を得て、キャリアアップに取り組みました。昨年、将来の自分を考える機会として、「産業社会と人間」の時間でインターンシップ(就業体験)を実施し、さらにその取り組みを深め充実させることが目的です。



ボランティアスクールに参加した生徒

協議会主催のボランティア体験(県立みくまの支援学校主催)への参加▽防災スクール(串本高校)への参加。参加した生徒の姿勢は大変真剣で、取り組みの姿勢に対して各方面からお褒めの言葉をいただきました。

進路選択への大きな経験

本田技研工業を職場見学

5日、2年生13人が総合的な学習の授業で取り組んでいるキャリアアップ事業の一環で、本田技研工業株式会社鈴鹿製作所の職場見学に参加した。来年度に迫った進路選択に向けて大きな経験となった。工場敷地面積は、甲子園球場が約26個分、その周りに約10万本の樹木が植えられているというスケールの大きさに生徒たちは驚いていた。



本田技研工業を見学した生徒ら

例年行っている「高校生よみかたりボランティア養成講座」を本年度も新宮高校との共催で実施しました。7月26・28日の両日、新宮高校生4人、新翔高校生7人が受講しました。講師は「おはなしの玉手箱」の橋本悦子先生、川口育子先生にお願いしました。26日は最初に、絵本、紙芝居のよみかたりについて、「絵本は淡々と読み、想像させるものだけれども、紙芝居は演じるものである」といった違い、また読み語る上での留意点を教えていただきました。その後、実際に

あつ〜い取り組み

「高校生よみかたりボランティア養成講座」



一人一人絵本をよみかたりする実演を行いました。期待と緊張の中、読み始めは恐る恐るという生徒たちでしたが、徐々に堂々と力強くなっていました。読み終えた顔には安堵と自信が見られ、あっという間の3時間でした。28日には、紙芝居を一人ずつ演じました。絵本と違って、「演じる」ことが要求され、照れもあつなかなかむずかしくなりましたが、先生方に指導されながら、コツをつかんでいったように見えます。最後に、「よみかたせ」の主役は子どもであつて、読み手が主役になつてはいけないということを確認して、今年の講座を終えました。

個性ある作品が完成

家庭科クラブが児童と「エコ工作」

10日、家庭科クラブの恵理子さん、岡田希希さんの4人。牛乳パックは子どもたちが各自持ち寄り、布やひもは同クラブのものを利用した。1年生の谷奥さんが作品を見せながら説明し、いよいよルームプレートに挑戦。児童たちは、パックにはさみで、形を切り抜き、布をきれいに張り、汗をかきながら作業に没頭。リボンやレースを飾り、ひもを取り付けた。最初は指導することに「子どもたちがわいかった」「喜んで不安そう顔だったけれど、徐々に上手になっていった。」



家庭科クラブ生が児童に「エコ工作」を指導



ルームプレートが完成した

県水泳強化合宿の会場に



7月28日〜30日の7日間、和歌山県水泳強化指定者強化合宿兼2010年国民体育大会参加者強化合宿が本校を会場に行われ、県内の各校から選手約30人、指導者4人が集まった。この合宿は、県が定める強化指定記録を突破している人と本年度の国体への出場が決まった人が参加を認められ、今年で4回目。練習時間は1回約2時間半〜3時間、それを一日2回行い、泳ぐ距離は一日16キロを越える。選手たちは幼いころから水泳をしているが、本校の50メートルプールで行う練習は、普段25メートルで行う練習に慣れている人にとってはかなりきついものになる。それでも、3日もすれば選手は順応し、練習を頑張っていた。競泳の練習は見た目どおりにきついものである。呼吸が水中では、呼吸のための動作を行わないと泳ぎ続けることができない。その動作に無駄がないか、呼吸をギリギリまで制限し、いかにスピードを上げるかなど、繊細さと強い精神がないと勝利は結びつかない。短いものは25秒で終わってしまう、その一瞬のために選手は毎日厳しい練習を行っている。その志は高く、9月に千葉で行われる国体で一人でも多く決勝へ進み、チーム和歌山が栄光をつかむことを目標に頑張っている。

先生の紹介

和泉友紀先生



4月から新翔高校で勤務しております。和泉友紀と申します。担当教科は国語科で、3年4組の副担任をさせていただきます。部活は女子バレーボール部の副顧問を担当しております。部活動中は練習

の補助、時には参加もさせてもらっています。新翔高校の生徒はとても明るく活気に満ちています。私はそんな生徒の笑顔を見るのが大好きです。経験が浅く、まだまだ未熟ですが、先生方の親切なアドバイスを力に精進しています。また、生徒から学ぶことも多く、生徒と一緒に勉強

を重けています。これからいろいろな事に挑戦して頑張りますのでよろしくお願ひします。私は地元・熊野が大好きで、社会人になつたら絶対地元に戻つて働こうと決めていました。しかし、高校卒業するまでは熊野の歴史についてほとんど無知で、都会に出たと思いが、県外の大学に進学しました。しかし大学のときに「中世の熊野信仰」について学ぶことがあり、そこで初めて、故郷の歴史の深

パンづくりに挑戦

調理師や保育士を目指す3年生4人



パンづくり体験に参加した(左から)松下さん、岡本先生、橋本さん、久保利さん、平野さん

7月21日、3年生の総合的な学習の時間に、調理師や保育士を目指す4人が、パンづくりに挑戦した。久保利真美さんは調理師、橋本映里奈さんはパティシエ、松下佑加さんと平野亜矢さんは保育士を目指している。それぞれが幼児のおやつや食品について研究するうちに、

この取り組みはレポートにまとめ、1月の発表会で発表する予定。